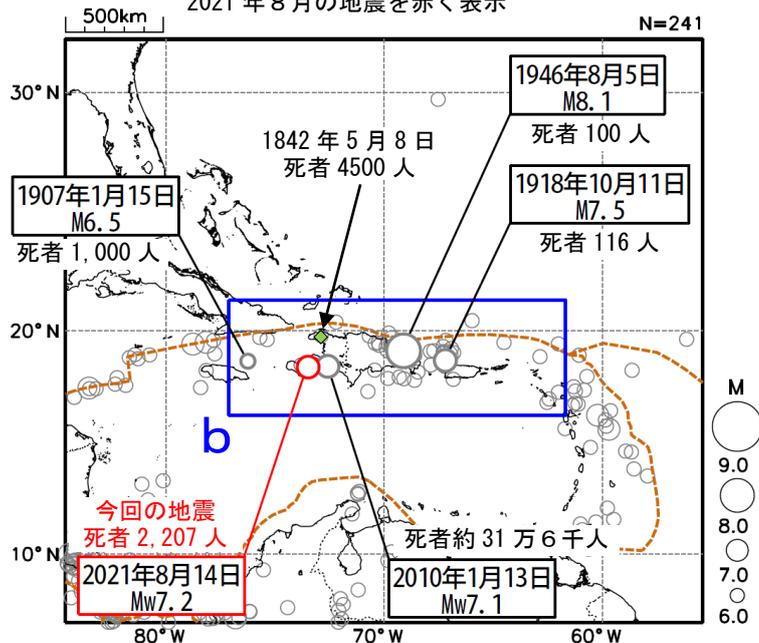


（3）過去の地震活動

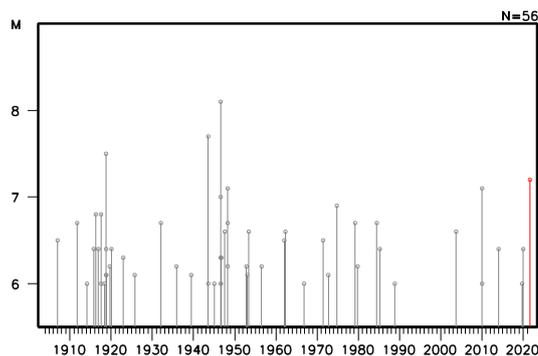
ハイチ周辺は北米プレートとカリブプレートの境界付近に位置し、これまでも M6.0 以上で被害を伴う地震がしばしば発生している。今回の地震の震央周辺では、前述した 2010 年 1 月 13 日の Mw7.1 の地震で死者約 31 万 6 千人などの被害が生じた。ただし、死者 10 万人以上の被害を伴う地震は世界的にも稀である。2010 年 1 月 13 日の Mw7.1 の地震は、北米プレートとカリブプレートのプレート境界の近くに存在するエンリキロ断層で発生したと考えられている。エンリキロ断層では、1700 年代半ばから 1800 年代半ばにかけて、規模の大きな地震が発生している。

震央分布図（注3）（注4）

（1904 年 1 月 1 日～2021 年 8 月 31 日、
深さ 0～100km、M≥6.0）
2021 年 8 月の地震を赤く表示



領域 b 内の M-T 図



過去にエンリキロ断層で発生した主な地震（米国地質調査所の資料による）

年月日	被害等
1751 年 10 月 18 日	ドミニカ共和国で大きな被害
1751 年 11 月 21 日	ポルトープランスで大きな被害
1770 年 6 月 3 日	ポルトープランスで大きな被害
1860 年 4 月 8 日	津波を生じる

（注1）NOAA（米国海洋大気庁：National Oceanic and Atmospheric Administration）。津波の高さは 2021 年 8 月 28 日現在のもの。

（注2）今回の地震の被害は、国連人道問題調整事務所（OCHA）による（2021 年 8 月 30 日現在）。

（注3）今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。また、以下の地震の発震機構と Mw も気象庁による。

2010 年 1 月 13 日（Mw7.1）、2018 年 1 月 10 日（Mw7.5）、2020 年 1 月 29 日（Mw7.7）

次の地震の発震機構と Mw は Global CMT による。

2021 年 8 月 15 日 03 時 11 分（Mw5.4）、同日 12 時 20 分（Mw5.7）

次の地震の M は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

1907 年 1 月 15 日（M6.5）、1918 年 10 月 11 日（M7.5）、1946 年 8 月 5 日（M8.1）

それ以外の震源要素は、1904 年から 1999 年までは国際地震センター（ISCGEM）、2000 年以降は USGS による。（2021 年 9 月 1 日現在）

（注4）過去の地震の被害は、2010 年 1 月 13 日の地震は外務省中米局、それ以外の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

宇津徳治 (2004) 世界の被害地震の表 (古代から 2002 年) まで, 宇津徳治先生を偲ぶ会, 東京, 電子ファイル最終版。

改定・更新版 : <http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index.html>